

守っていますか？喫煙マナー

危険です！歩きタバコ

手にタバコを持つ高さは、ちょうど子どもの目線の高さです。服が焦げる、耳のやけど、失明の事例もあり、マナーに反するばかりか危険も伴う行為です。

相手の目線になり思いやりの気持ちを持ちましょう。

吸わない人が吸わされている？

周囲の人が他の人のタバコの煙を吸ってしまうことを「受動喫煙」といいます。喫煙者はフィルターごしの煙(主流煙)を吸います。しかし周囲の人はタバコの手先から出る煙(副流煙)を直接吸い込んでしまいます。

副流煙には一酸化炭素、アンモニア、ホルムアルデヒドなど有害な物質が主流煙よりも多く含まれており、喫煙者の何倍も健康に害を受けてしまいます。受動喫煙を防止するため、マナーを守って喫煙しましょう。

吸いからポイ？

思いやりも捨てていませんか

吸いからのポイ捨てはマナー違反になるばかりでなく、火災の原因にもなります。一部の人のマナー違反が観光地・蒲郡のイメージを損ねるのは悲しいことです。

外出時には、自分で灰皿を携帯するようにしましょう。

換気扇・空気清浄機はマナーと無関係

タバコの煙が吸われていくのが見えますが、有害物質はほとんど除去されないためマナー対策としては全く意味がありません。分煙に心がけましょう。

例えばベランダで吸ったとしても、窓が開いていると部屋に煙が流入します。タバコの煙は窓・壁で完全に仕切り、吸わない人がいる部屋と分けましょう。



妊婦・子どもをタバコから守ろう

妊婦の受動喫煙はお腹の子の脳の発達や子どもの喘息、中耳炎にも関係します。周囲が気をつけましょう。



講演会のお知らせ

—健康がまごおり21「受動喫煙を防ごう！」—

とき 12月11日(金) 午後1時30分～3時30分

ところ 保健センター2階 講座室

内容 講演：「地域で取り組む防煙対策の秘訣」

～たばこの煙から子どもの健康を守ろう～

講師：中川恒夫(子どもをタバコから守る会・愛知)

参加費 無料

申し込み 12月4日(金)までに電話で健康推進課へ

そのけむり
となりの人がこまってる



受動喫煙啓発ポスター